とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1カ月150円　1カ年前納1、500円

空港＋是か非か

特別委で調査へ

学園都市は阿寒を調査

定例足寄町議会

定例第四回の足寄町議会は十八日午前十時すぎにひらき、会期を三日間として大滝議長から諸般の報告があり、小林町長から

一、開発促進期成会の設立
二、学園都市誘致運動の経過
三、道東大型空港の誘致
四、玉川学園大学の進出計画
五、農業振興基本計画
六、里見ガ丘公園観光施設事業

などについて行政報告があって質疑がおこなわれ

一、についてはとかく看板倒れで、議員が十三名もの過半数が入るのは好ましくなく、人材はいる
二、について十勝総合開発期成会から異端者扱いをうけたが信念をもってとりくむべきだ
三、については上芽登地区から要請書が出ており営農にも関係するので協議会で検討する
四、については市街のそばではなく鳥取や茂足寄などのへき地はどうか
五、については肉牛の振興策をどうするか
六、については食堂組合の施設は資金関係から四千万円に縮小、上の富士ドライブインを本州の大手が買収してホテルも建てるというが、食堂組合は窮地に陥いるのでないかなどの論議がありました。

足寄市の可能性

田中首相の鶴のひと声で学園都市は阿寒湖付近を適地として調査に決定。

× ×

名称は阿寒でも用地の大半は足寄町内で―ここに五万都市を建設するので、足寄市への可能性が確実に。

× ×

そうなれば市役所、市長、市議会議員はかりでなく道議選も単独区に。

× ×

そこに高速道路も新幹線も大型空港もということになるのですが―。

西小は常盤高台へ移築

消防体制の在り方を指摘

つづいて各委員会へ調査付託事項の報告にうつり、宮川建設委員長から

本年の工事はいずれも工期内に完成して内容も良好だが、大誉地小学校についてはコンクリート打ち込みのさい一部に「ジャンカ」ができ「ふくらみ」が見られ手直しした

が、監督上注意すべきである

矢野企業会計決算特別委員長から認定と決定

新沼西小に関する特別委員長から西小の移転新築、東小の存続発展などの陳情を採択

新沼文教委員長から町民吹奏楽団設立の補助金交付の陳情については、育成は必要だが楽器などは町が備品として購入して貸付すべきであるとして不採択、高校PTAからの寮の運営費助成の陳情についても、寮は独立採算が基本で、道立の施設であり、町が恒常的な助成は適切でないとして不採択

との報告どおりに決定して一般質問に入り、佐々木、鳴海の二議員だけで午後四時二十分に散会しました。

十九日も午前十時に再開して遠山、矢野、神本、湯浅、阿部、香川議員の順で一般質問をおこないましたが、特に三町の広域消防となっても消防長が非常勤であること、各町の消防団が広域消防体制に加わっていない点が指摘され、問題の西小学校の新築位置について新津教育委員長は

教育委員会としては才一候補地から才四候補地を求め努力したが、町から公式に回答を頂き四候補地とも断念せざるを得ない、その他に適地があれば別だが、町の提示された土地（常盤高台）しかない

と答弁しました。

このあと議案に入り、町職員給与条例の一部改正、下愛冠児童館の完成による条例改正、大誉地保育所認可による条例改正、中央公園（町立病院裏）建設にともなう児童公園条例制定などを決めて午後四時二十八分に散会。

二十日も午前十時に再開して、小林町長から『研究学園都市について田中首相は明年度予算編成の重点事項として大蔵省にたいして調査費を計上することを指示し、適地として本道の阿寒湖付近をはじめ全国で八カ所の地名をあげた』と報告、湯浅議員が『従って十勝総合開発期成会の問題がある、町としては三支庁提携にすすむべきで、期成会にたいして諒解をすすめ毅然たる態度をもって真剣にとりくんでもらいたい』と述べました。

ついで一般会計、特別会計の予算補正などを議決、四十六年度各会計の審査に特別委員会を設け、鳴海委員長、香川副委員長、久保田、大野、横田、鷲足、高橋、大浦委員を決め、国民年金制度の改善に関する意見書提出を決定、中足寄小学校PTAからの校舎改築についての陳情を文教委員会に付託したあと、大型空港問題の協議に入りました

小林町長　学園都市と高速道路に関連して道東の大型空港について[illegible]査と誘致は別個と[illegible]るが、候補地として道[illegible]要望せねばならないので、名乗りをあげるのが是か非か、議会の意志を確認したい

斉藤副議長　是か非でも誘致したいのか

少林町長　そのとおり

斉藤副議長　緑の高原都市のマチづくりに弊害はないか

湯浅議員　帯広は反対している、調査しての結論かあとに問題は残さないか、大型であれば帯広より公害が多い　ここは山のなかだからよいのか、決意のほどを明確にききたい

小林町長　マイナス点はあるが、道東の大型空港は四十八年度から数カ所調査したいとのことで、新しい学園都市から相当程度の距離のところへ空港が望ましく、千歳に代替する考えもあり、全額国費でつくる、マイナスを補うため臨空産業や学園都市を考えており、押しつけるものではない、ひろい地域なので設置を前向きに検討したい、森林でかこみ騒音を小さくするし電子産業など航空貨物輸送の基地として町将来の発展のためとりくんでよいと考える

鳴海議員　重大ニュースであり、特別委員会をつくり積極的に早期に検討したい

斉藤副議長　小林町政は農業、林業、観光などが重点で　大型空港となればくずれていくのではないか、学園都市は公害をともなわないが空港は支障をきたす町長の姿勢を変えることになる、軽々しく結論を出すべきでない、発展にはなるが、そのことが町民の幸せになるかどうか

小林町長　四十三年に策定の町総合開発計画の拠点都市の整備は交通網の整備でこれに該当する、教育文化水準の向上は大学がそうで、農畜林だけでは豊かな生活が充分ではない、才一次産業に寄与でき住民福祉に相反しないと考える、企業誘致に無関係ではなく道東内陸の中心点として注目されている

吉田議員　特別委員会は時期尚早ではないか

鳴海議員　決まってからではおそい

神本議員　内部的に充分の体制がない、調査せねば結論は出せない、執行者として調査すべきではないか

鳴海議員　特別委員会は町長を信頼できないからつくる、即誘致ではない

大滝議長　町長は空港がほしいという、我々は住民代表として是か非かを調査すべきで、よくなければ反対となる

斉藤祐一議員　上芽登に反対の声もある、二次構の位置ずけがどうなるか

湯浅議員　四十八年度調査でさし迫っている

小林町長　国が設置するので調査に入ってもよいかどうかで、一、二年調査し五十五年ごろ完成という

ここで研究学園都市調査特別委員会を設けて交通体系をふくめて調査することになり、鳴海、大浦、遠山、矢野、斉藤(祐)、新沼、吉田、加藤の八委員をあげ、午後四時四十分に閉会しました。

賀正　1973年

総泉寺
小林準道
足寄町西三区　T　二二〇七

帯広繊維製品卸商業協同組合
理事長　藤本国夫
帯広市　T　三―四六二四

雪印乳業足寄工場
工場長　横内義夫
製造課長　小飼宏男
庶務課長　榎波久昭
足寄町下愛冠　T　二〇一二

加藤製材所
加藤　碩
足寄町東三区　T　二六七四

本名武足寄後援会
会長　日景健治

中川一郎足寄後援会
会長　遠山謙

水上測量事務所
土地家屋調査士　水上繁治
池田町西二条八丁目

自由民主党足寄支部
支部長　鷲足賢
副支部長　河向一夫
同　岡崎薫
同　柴田栄一
同　加藤満
同　大浦武夫
同　高橋募
同　阿部俊夫
幹事長　高橋佳夫

日本社会党足寄支部
支部長　神本三也
副支部長　三原幸雄
書記長　香川博彦
財政部長　木村豊

日本共産党足寄支部
支部長　矢野寛一

赤旗足寄分局
分局長　新倉万鏡